

心理学サブコースの紹介

1. コース概要

心理学サブコースでは、心理学の基礎から応用まで、幅広くかつ専門的に学びます。人間の心と行動を科学的に理解するための基礎的知識を身につけ、そこからさらに心の健康に関する実践的スキルや、保健医療・福祉・教育・司法・産業分野それぞれで役立つ実用的スキルを修得する多様なカリキュラムが用意されています。そうしたカリキュラムを通して、人間の心と行動への深い理解に基づき、学校および地域における様々な心理的問題の解決に貢献できる人材の育成を目指しています。なお、本サブコースは、厚生労働省および文部科学省の認可を受けて、学部において国家資格「公認心理師」の受験資格を得られる教育体制・カリキュラムを用意しています。

なお、教育学部における心理学サブコース定員は毎年9名となっておりますので、希望者が9名を超えると学内選考が実施されることになっておりますので注意してください。

2. コース担当教員

担当教員は、以下の3名の教員です。3年後期より、希望する研究室に所属し、それぞれの興味関心分野を中心に専門的に学び、最終的に卒論を仕上げていくこととなります。

教員名	研究分野	各研究室における主要な研究テーマ
藤井義久	臨床分野	いじめ、不登校、学級崩壊など学校現場が抱えている問題の現状と課題について分析し、個々の問題に対する解決策について学校心理学的視点から検討しています。また、学校心理士、公認心理師の資格取得に向けて必要な子ども支援スキル、カウンセリングスキルの習得も目指しています。
岩木信喜	教育分野	記憶と学習を支援する方法について実験的に研究をしています。基礎的な問題としては「どのようなプロセスで誤った知識が修正されるのか」を検討しています。応用面としては、「想起による学習促進効果の教育現場における活用」を目指しています。
青山 慶	発達分野	人はいつ、どのように、なぜハイハイをやめ二足歩行へ、手掴みから食具を用いた食事へと移行するのでしょうか。こうした新しい行動が現れてくるところに関心があり、主に「観察」の方法を用いて研究を行っています。「赤ちゃんと母親の関係」「加齢に伴う知覚と運動関係の変化」「演劇の創作過程」「ペーパードライバーの熟達過程」など幅広い現象から発達にアプローチしています。

(注) 各教員のさらに詳しい情報についてお知りになりたい方は、岩手大学教育学部ホームページから教員一覧を開き、学校教育科の各教員名のところをクリックしていただければと思います。

3. 心理学サブコースに関するお問い合わせ先

心理学サブコースのことについてもっと知りたいことがあれば、まずは以下の問い合わせ先まで、メールで連絡してください。個別面談も、内容、希望によりお受けする場合がありますので、気楽にご相談ください。

<お問い合わせ先>

藤井義久

fujii@iwate-u.ac.jp

(参考資料) 公認心理師養成に係る岩手大学教育学部心理学サブコース実習カリキュラム

1. 目的

公認心理師法施行規則第三条第三項の規定に基づき、文部科学大臣及び厚生労働大臣が別に定める施設」(平成29年度文部科学省・厚生労働省告示第5号のとおり)において、主要5分野(保健医療、教育、福祉、司法、産業)について見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受ける必要があるため。

2. 対象学生

岩手大学教育学部心理学サブコース学生(3年次)

3. 実習計画

心理実習 40h(1分野8時間×5分野) 3年次前期

公認心理師法施行規則において定められている主要5分野の施設において、1分野8時間ずつ、計40時間の見学を中心とした実習を行う。各実習施設においては、それぞれ主たる実習テーマを決め、そのテーマに基づき見学を中心とした実習を行いながら、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理、法的義務について学ぶ。

<実習期間>

4月から8月の期間のうち、各実習施設が定める日(基本的に「心理実習」の時間、補講期間に実施する。)

<実習施設および主たる実習テーマ>

(保健医療分野) 病院

主として要支援児に対するチームアプローチ及び多職種連携の在り方

(福祉分野) 児童センター

児童の現状把握及び要支援児童に対するチームアプローチの在り方

(教育分野) 幼稚園

地域との連携を大切にした子ども支援及び親支援の在り方

(司法分野) 少年鑑別所、少年院

非行少年に対する理解と対応

(産業分野) 産業保健総合支援センター、ハローワーク

職場における大人のメンタルヘルスの現状と対策

○心理実習 40h(保健医療分野16時間、福祉分野24時間) 3年次後期

心理実習に引き続き、保健医療分野と福祉分野に絞り、見学だけでなく参加実習や多職種の方々とのディスカッションも多く含め、心理的支援を求めている主として子ども理解とチームアプローチの在り方、職業倫理、法的義務等について集中的に学ぶ。

<実習期間>

10月から11月の間で施設の都合の良い日時。(「心理実習」の時間及び土曜日に実施する。)

<実習施設>

(保健医療分野) 保健所 2日、16時間

母子保健、自殺予防、多職種連携の実際を中心に、集中的に学ぶ。

(福祉分野) 児童養護施設 3日、24時間

児童虐待等により心理的支援を必要としている児童生徒に対する支援の在り方について集中的に学ぶ。

岩手大学教育学部心理学サブコース設置「公認心理師カリキュラム」(厚労省・文科省認可)

省令で定める科目名	標準履修年次	教員氏名	開講時期	開講形態
1.公認心理師の職責	3年前期	藤井 山本	隔年	オムニバス
2.関係行政論	3年前期	非常勤	毎年	人社 集中講義
3.臨床心理学概論	2年前期	山本	毎年	単独
4.心理学研究法	2年前期	藤井他	毎年	オムニバス
5.心理学統計法	1年後期	青山	毎年	単独
6.心理学実験	2年前期	岩木他	毎年	単独
7.知覚・認知心理学	2年前期	岩木	隔年	単独
8.学習・言語心理学	3年後期	岩木	隔年	単独
9.神経・生理心理学	3年後期	岩木	隔年	単独
10.福祉心理学	2年後期集中	非常勤	毎年	単独
11.健康・医療心理学	3年前期集中	非常勤	毎年	人社 集中講義
12.発達心理学	2年後期	青山	毎年	単独
13.障害者・障害児心理学	1年後期	非常勤	毎年	単独
14.心理的アセスメント	2年後期	藤井	隔年	単独
15.心理学的支援法	2年後期	藤井	隔年	単独
16.社会・集団・家族心理学	3年前期集中	非常勤	隔年	単独
17.司法・犯罪心理学	3年前期集中	非常勤	隔年	単独
18.教育・学校心理学	1年後期	岩木	毎年	単独
19.感情・人格心理学	3年後期	藤井	隔年	単独
20.産業・組織心理学	2年後期集中	非常勤	隔年	単独
21.人体の構造と機能及び 疾病	2年前期集中	非常勤	毎年	単独
22.精神疾患とその治療	2年前期集中	非常勤	毎年	単独
23.心理学概論	1年後期	藤井他	毎年	オムニバス
24.心理演習	3年前期	藤井	隔年	単独
25.心理実習	3年前期 集中	藤井他	毎年	5領域施設 見学実習 (40時間)
25.心理実習	3年後期 集中	藤井他	毎年	2領域施設 集中実習 (40時間)

(注) 国家資格「公認心理師」受験資格を得るためには、上記の学部指定25科目を履修し卒業した上で、大学院に進むか、指定の施設において実務経験を2年以上積むことが必要となります。